

課題

・移動時間の**定時性確保**や**高齢者の移動のしやすさ**が課題

・和光市駅～新倉PA間を結ぶ新たな交通手段、及び国道254BP沿線の新たな**産業集積**による**就業者の通勤手段の確保**が課題



現状の外環側道部

推進体制



課題解決に向けた取組

外環道PAを中心とした交通・産業拠点と鉄道駅間を
連絡する自動運転サービス社会実装

➤ 本市の地域拠点間を有機的に接続する移動手段について、段階的に自動運転技術及びIoT技術の導入による機能・運用改善を図り、新たな地域公共交通システムを形成する

- ・和光市駅と新倉PA、及び周辺の産業集積拠点間の新たな公共交通サービスによる拠点機能の強化
- ・外環道側道部の道路空間を活用した**自動運転車両**走行空間の整備（構造的に分離されたEV型自動運転車両専用の走行空間の設置）
 - 外環道側道部の専用走行空間化のためのハード整備、EV型自動運転車両の運行機能の補助
 - ・電磁誘導、拠点へのEVステーション設置等
 - 交差点の交通制御
 - ・**5G通信**による車両と信号制御（ローカル5G）
 - ・誤進入防止策（ライジングボラード等）の制御



対象エリア（和光市駅～新倉PA間）の自動運転サービスによる広域交通との連携イメージ

2021年度の
主な取組

- 自動運転サービスの専用空間整備のため、先行区間における**道路の詳細設計を実施**
- 「**第3回和光市未来技術地域実装協議会**」(12月開催)において交通事業者である**東武バスウエスト(株)**を委員に追加
- 様々な世代における市民理解を高めるため、**従来型とWeb型両方で住民説明会を実施**(2021年11月と2022年2月)

取組内容

(写真・図：和光市提供)

先行区間における実装化計画案の検討と走行空間整備のための道路詳細設計の実施

- 今後の実装化を見据え、ルート等の検討の段階から運営の視点を取入れるため、「**運営予定事業者**」として**東武バスウエスト(株)**を**和光市地域公共交通会議**において選定し、和光市未来技術地域実装協議会で追加委員として承認
- 交通事業者や自動車メーカー、交通管理者、道路管理者の委員を中心に**自動運転車両走行におけるワーキンググループ**を組織し、さらに関係する民間企業の参画により、具体的な検討体制を構築
(参画予定の民間企業)
 - ・東武バスウエスト(株)
 - ・本田技研工業(株)
 - ・保険事業者
 - ・自動運転車両開発、運行管理事業者
 - ・インフラ整備事業者 など

